令和8年度　学力向上を図るための全体計画

鷹南学園三鷹市立中原小学校

関係法規・市教委教育目標

日本国憲法　教育基本法学校教育法 学習指導要領 都・市教育目標

学校教育目標

◎自分で考える子の育成
◎思いやりのある子の育成
○健康でたくましい子の育成
○よく働く子の育成

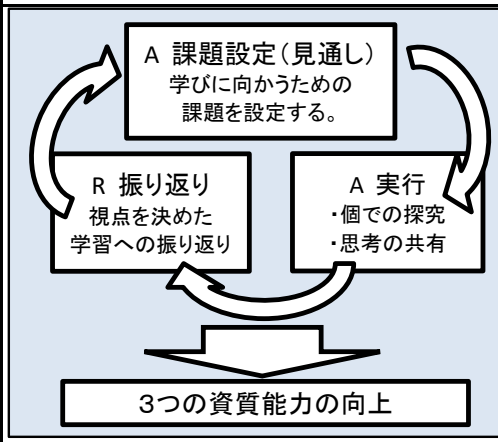
児童の実態、期待される児童像

学習内容の定着度や、知識・技能を活用する問題解決能力に個人差が見られる。自らすすんで表現し思考を深めようとする子、友達との関わりから思考を広げられる子になるようにしたい。

学力向上に関わる学校経営方針

・小・中一貫教育、小・小連携の視点からの「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
・「自己調整力」を育て学習活動を振り返ることにより内容の定着と課題を見いだす力の育成
・安心・安全・快適な学級経営を基盤とした学習への意欲の保障
・学校・家庭・地域と協働し、学校を核とした学びの共同体の創造
・校内通級教室との連携を図り、児童の実態や指導の方向性を共有する支援体制の充実

本校が目指す「確かな学力」



教科指導の重点

「三鷹市小・中一貫カリキュラム」を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う 。
相互乗り入れ授業を活用し、系統的な学力充実を図る 。

道徳教育の指導の重点

家庭・地域と連携し、心を込めてあいさつができる子の育成を図る。
小・中9年間の系統的な指導計画を作成し、多角的・多面的に考える力を育てる 。

総合的な学習の時間で身に付ける「学力」の重点

探究のサイクルを充実させ、社会に積極的に関わろうとする態度を育成する。学習したことを自己の生活や生き方に生かす力を育てる 。

特別活動の指導の重点

児童会・生徒会活動や小・小、小・中交流活動を通し、自主的・実践的な態度を育てる。
異年齢集団による縦割り班活動を通じ、主体性や責任感を育てる 。

進路指導の重点

キャリア・アントレプレナーシップ教育を3段階で設定しコミュニケーション能力の育成に重点を置く 。
児童会を中心に、友達の良さを認め合う活動を全校で行い、自己肯定感を高める 。

生活指導の重点

9年間を通じて、「みそあじ言（身だしなみ、掃除、あいさつ、時間、言葉遣い）」を中心に確かな人間力と学力を育成する 。いじめの未然防止と早期発見に努め、支援が必要な児童には組織的に対応する 。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研修・研究の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
思考を「言語化」する活動の習慣化する。 「問い」から始まる探究的な単元計画を計画する。	小・中や小・小の相互乗り入れ授業を実施し、学習意欲の向上を図る。 週1回の朝読書などで年間500分以上の読書時間を確保する。	「主体的に学習に取り組む児童の育成」をテーマに、日常的な研究に取り組む。 月1回以上のOJT研修を行い、特に学習用タブレット端末などの技術向上に努める。	小・中9年間を見通した評価観の共通理解を図る。 児童対象の学校生活アンケートを年3回実施し、指導改善や学校評価に生かす。	「答え」より「過程」を積み重ねる家庭学習の充実を図る。3年生以上で自主学習を取り入れ主体的に学習に取り組む児童の育成を図る。
教科横断的に「読む力」「言葉の力」（表現力）の育成を図る。	中・高学年を中心に教科担任制を実施し、教員の専門性を生かした授業を進める。	各学年で共通の研究の手だてを年間通して実践し、授業公開後の振り返りを授業改善に生かしている。	4年生以上を対象に「授業者評価」を行い、授業改善に結び付ける。	児童が主体となる行事への取り組み（実行委員の活躍の場を拡充）

主体的・対話的で深い学びと個別最適な学び・協働的な学びの視点